

令和7年度 部局経営目標

年度	令和7年度	作成日	令和7年4月1日
部局名	落合振興局	部局長名	大塚 清文
(1) 部局の方向性 (テーマ)			
・地域の強みを活かした地域振興 地域の強みを活かした市民主体の振興事業や経済循環の推進をすることにより、豊かで自立した農山村を実現します。これらのことを通じて、多様な交流を生みだし人口の社会減を抑制します。 ・市民と協働・連携したまちづくり 市民との協働によるまちづくりを推進します。主に地域自主組織等の団体を支援します。また地域の強みを活かした活動に取り組もうとする団体に対して伴走支援を行います。 ・生み育てやすい環境づくり 人口減少対策の一環として、安心して子育てができる環境を確保するため、ライフスタイルに合わせた支援を行う。			
(2) 部局の重点施策			
1. 回る経済と脱炭素への挑戦	①地域産業の振興と広域連携の促進		
2. 支え合いイキイキと誰もが活躍できる真庭	①地域自主組織等の支援 ②地域の強みを活かした地域づくりを目指す団体の伴走支援 ③空き家活用と人口減少対策の推進 ④ひきこもり支援の推進		
3. こどもはぐみ応援プロジェクトの推進	①ライフステージごとの子育て支援 ②愛育委員会等地域組織によるふれあい体験事業		
(3) 事業成果目標		指標名及び目標値	
●人口減少抑制対策 妊娠期から子育て期にわたり、安心して子育てを行える保護者への寄り添いと仲間づくり ※再掲 ・新生児訪問・妊産婦訪問・ベビーマッサージ等により、早期に保護者と関わり、また保護者同士のつながりをつくることで、安心して子育てができるよう支援します。 ・通信アプリを活用した個別相談や親子健康手帳交付時・育児相談・離乳食教室時などの機会を活かし、妊娠や子育ての不安軽減と孤立化予防に努めます。		指標:①ベビーマッサージ参加組数②育児相談参加乳幼児数	
		目標値:①1回平均7組②100人	
		令和6年度実績値(見込): ①1回平均6.5組②95人	
●生ごみ資源化対策関連事業 ・地域住民の意識醸成を高めるため、定期的な情報発信を行うことで周知啓発を図ります。このことにより、生ごみをはじめとする「ごみの分別」と「資源化」を促進します。		指標:「落合地域の行事予定」に啓発・情報発信記事を掲載し、各戸配布	
		目標値:6回	
		令和6年度実績値(見込):6回	

1-①地域産業の振興と広域連携の促進 ・落合地域の主要産業である農業を中心とした地域産業の創出を支援します。 ・吉縁起村協議会を運営主体として、地域振興会社・勝山高校・真庭スポーツ振興財団・障がい者支援施設等と連携し、落合・久世・勝山地域における広域連携型スマートストアの運営を行っていくための支援をしています。	指標:支援する活動団体数
	目標値:2団体
	令和7年度:新規指標
2-①地域自主組織等の支援 ・おチアーズやにしばーずなどの地域団体と共に、「落合deのみへの」や「おちあい元気フェスタ」をより盛り上げ、地域住民が多数参加できるよう、新企画と一緒に検討・考案していきます。 ・別所地域において、旧別所小学校の廃校活用及び冬の醍醐桜を活用したイベントなど、桜の時季以外にも観光客が訪れる仕組みづくりを支援します。	指標:交流事業開催数
	目標値:4回
	令和6年度実績値:4回
2-②地域の強みを活かした地域づくりを目指す団体の伴走支援 ・真庭プリンセスサリー生産振興協会を中心に、農地という地域資源を活用し、付加価値の高い米「プリンセスサリー」の生産を行うとともに、販売先拡大に向けた支援をします。 ・農村RMO吉縁起村協議会を中心に農事組合法人等と連携し、スイオウやショウガの特産品化の取り組みを支援します。	指標:販売拡大支援回数
	目標値:3回
	令和7年度:新規指標
2-③空き家活用と人口減少対策の推進 ・落合地域づくり委員会等による定住支援活動を推進します。	指標:団体への推進回数
	目標値:3回
	令和7年度:新規指標
2-④ひきこもり支援の推進 ・ひきこもり支援プロジェクト会議を中心として、地域組織と連携し、ひきこもりについての理解を深めるため、「ひきこもりは社会全体の問題」として取組を進めていけるよう、勉強会の開催などを推進していきます。	指標:勉強会回数
	目標値:3回
	令和7年度:新規指標
3-①ライフステージごとの子育て支援 妊娠期から子育て期にわたり、安心して子育てを行える保護者への寄り添いと仲間づくり ※再掲 ・新生児訪問・妊産婦訪問・ベビーマッサージ等により、早期に保護者と関わり、また保護者同士のつながりをつくることで、安心して子育てができるよう支援します。 ・通信アプリを活用した個別相談や親子健康手帳交付時・育児相談・離乳食教室時などの機会を活かし、妊娠や子育ての不安軽減と孤立化予防に努めます。	指標:①ベビーマッサージ参加組数②育児相談参加乳幼児数
	目標値:①1回平均7組②100人
	令和6年度実績値(見込): ①1回平均6.5組②95人
3-②愛育委員会等地域組織によるふれあい体験事業 ・愛育委員会などの地域組織と中学校との連携により、中学生がおもいやりの心をはぐくむと同時に子どもを育てる親の役割や子育てについて学び将来子どもを産み育てることへの関心を高めてもらう目的で、ふれあい体験学習を開催します。	指標:アンケート調査による満足度
	目標値:100%
	令和7年度:新規指標